



第4回映画鑑賞会の報告

(Googleより転載)

1. 実施日時 : 8月18日(火) 11:25~13:50
2. 上映館 : 新宿ピカデリー
3. タイトル : 「日本でいちばん長い日」

・終戦の年4月に発足した鈴木貴太郎内閣が聖断によりポツダム宣言を受け入れるまでのノンフィクション映画。

終戦に向けて連日の閣議、阿南陸軍大臣の苦悩、陸軍若手将校らの本土決戦に向けてのクーデター計画と玉音放送テープ没収計画行動等を映されていました。玉音放送までにいろんなことがあったことを改めて知らされました。

万が一陸軍若手将校らのクーデター計画が成し遂げられていたら終戦は伸びて日本は一層痛手を受けていたであろうと想像しました。

4. 参加者(6名) : ・井垣・伊藤(徹)・国友・栗原・滝沢・鈴木(敬称略)



昭和に合わせて古い写真？ (すみません実はカメラが故障しました)

5. 懇親会 : 『銀座アスターベルシー又新宿』14:15~15:20

ビールと予約してあった酢豚定食を食しながら映画の感想、戦時中の疎開生活での思い出、その他早実の野球の話題などを話し合いながら和やかなひと時でした。

・終戦が半月早かったら広島、長崎の原爆もなかったかも、

また、ロシアから樺太を取られないで済み、逆に伸びていたら北海道も取られていたかも。

・疎開先では食べ物と他の品の物々交換的なこともあった。

・東京空襲の火は千葉県松戸市近郊からも見えた。

・昭和42年の同じ題名の映画では昭和天皇は姿を見せなかったが今回は木本雅弘が演じる天皇陛下は画面に出るたびに言葉を発した。

(文と写真 鈴木)